

ウィークリー・マーケット・レポート

2015年9月7日

✓ 外国為替市場

通貨		9月4日	前回基準日	騰落率
祝日等で休場等の場合には、前営業日の数値を記載				
主要国	米国・ドル	118.99	121.71	-2.23%
	ユーロ	132.68	136.12	-2.53%
	英国・ポンド	180.43	187.39	-3.71%
	カナダ・ドル	89.51	92.20	-2.91%
	オーストラリア・ドル	82.17	87.31	-5.88%
	ニュージーランド・ドル	74.72	78.75	-5.12%
新興国	ブラジル・レアル	30.976	33.983	-8.85%
	メキシコ・ペソ	7.016	7.264	-3.41%
	トルコ・リラ	39.565	41.613	-4.92%
	南アフリカ・ランド	8.576	9.149	-6.25%
	インドネシア・ルピア※	0.840	0.870	-3.45%
	中国・人民元	18.727	19.048	-1.69%

※100外貨あたりの対円レートを表示

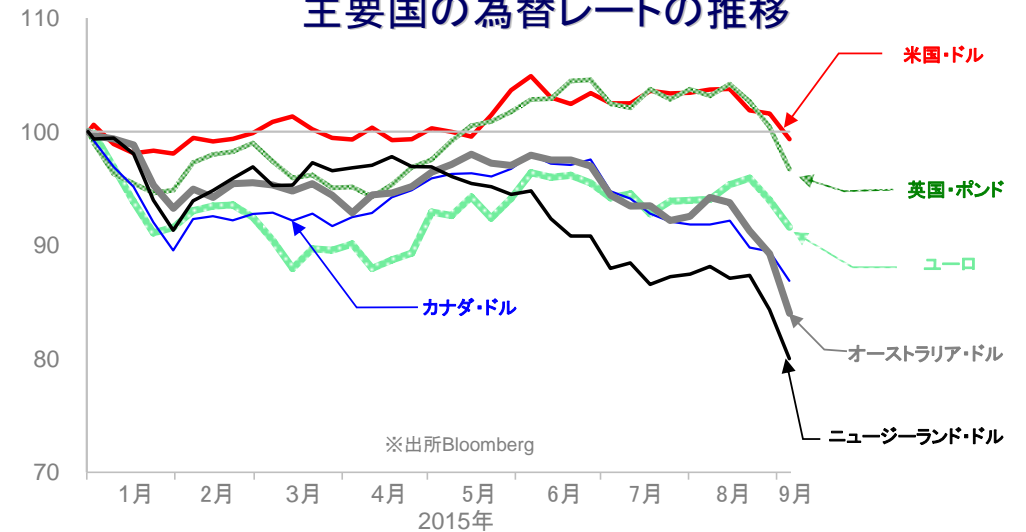
📎 マーケットの動き

米国の地区連銀経済報告(ベージュブック)では、大半の地区と分野において景気が拡大しているとの判断が示された。8月の雇用統計では失業率が前月から小幅に低下し、平均時給の伸びが確認されたものの、非農業部門雇用者の増加数は市場予想を下回った。ユーロ圏では、8月の消費者物価指数(速報値)上昇率(前年同月比)は前月と同水準にとどまり、7月の小売売上高は前月から改善した。ECBは、量的緩和政策の完全実施に向けた微調整を発表した。日本の4~6月期法人企業統計では、経常利益が大幅に伸び過去最高益となったものの、設備投資は前期比でマイナスとなり、同期の実質GDP成長率が下方修正される可能性が高まった。中国では、8月の製造業PMI(政府調査)が2012年以来の水準に低下した。中国人民銀行は人民元売りの為替予約取引に対する規制を発表した。週末に開催された20カ国・地域(G20)財務相・中央銀行総裁会議の声明では競争的な通貨切り下げの回避が採択された。

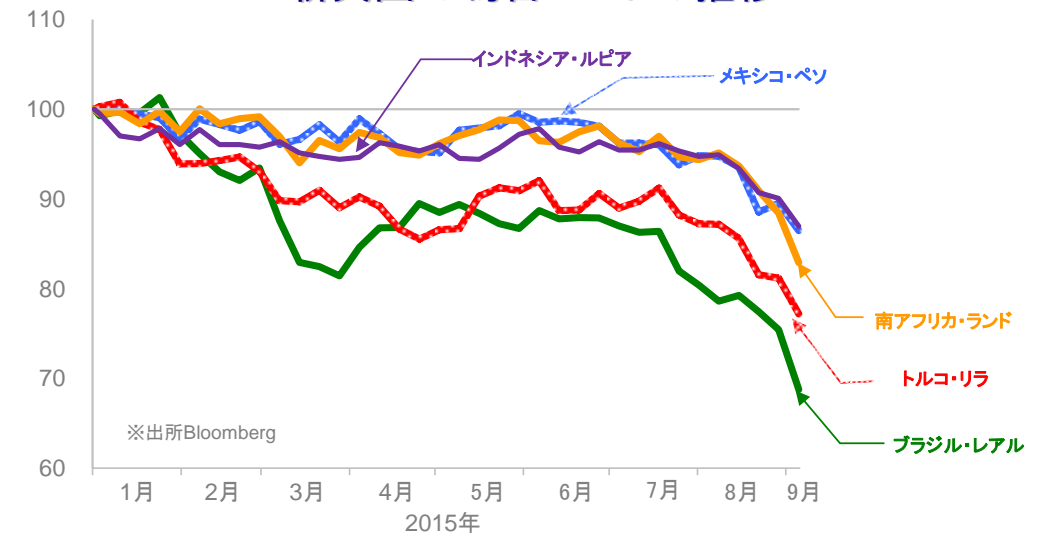
中国の景気減速懸念および株式相場に対する警戒感から、外国為替市場で安全資産とされる日本・円が選好され主要国通貨は下落し、新興国では米国の利上げ時期の先送りを主張するなど政策を巡る不透明感から通貨は下げ幅を拡大

○ 主要国通貨ではオーストラリア・ドルやニュージーランド・ドル、新興国通貨ではブラジル・レアルといった中国経済と関係の強い通貨に加え、8月の製造業PMIなど景況感が悪化した南アフリカ・ランドの下げ幅が大きい

主要国の為替レートの推移



新興国の為替レートの推移



※各為替レートの2014年末の終値を100として指数化しています。※週次データを用いています。

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客さまの投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類(目論見書等)ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の判断であり、将来の運用の成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客さま自身の判断でなさるようお願いいたします。

ウィークリー・マーケット・レポート

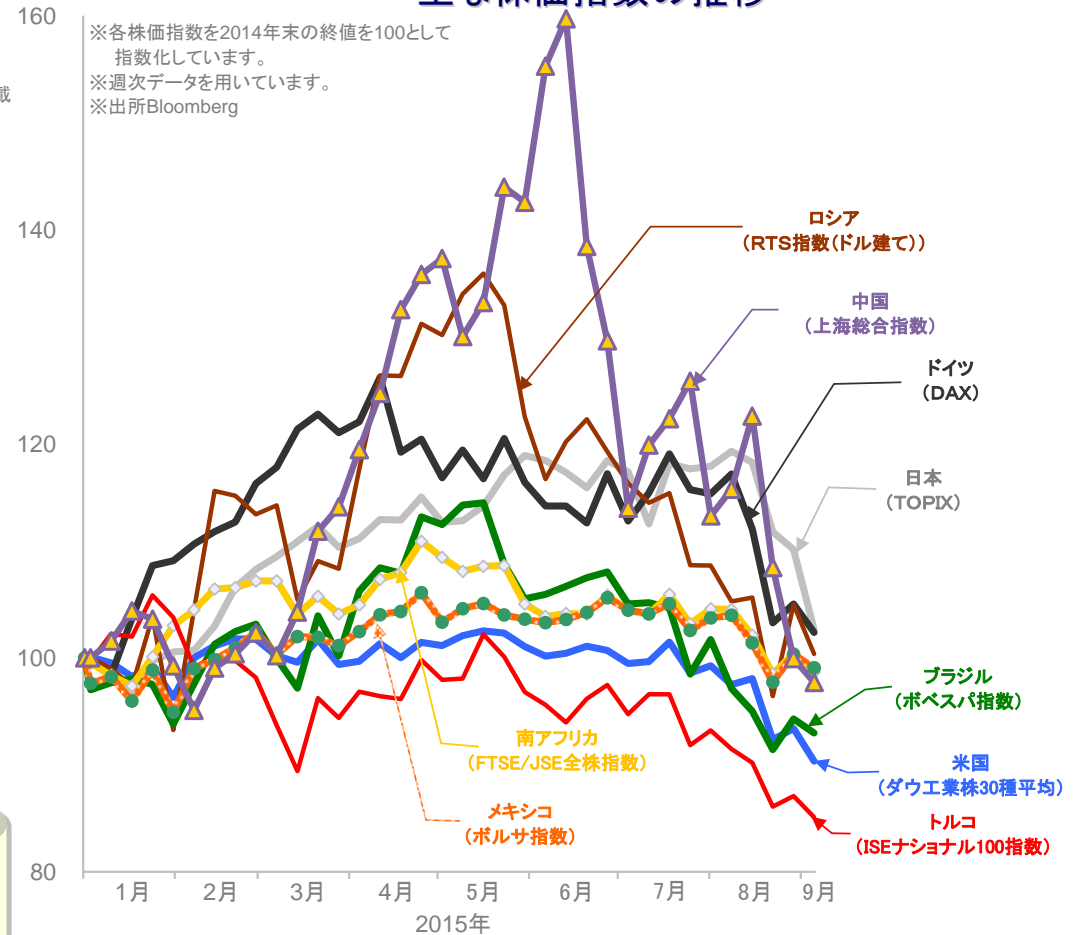
2015年9月7日

株式市場

国	株価指数	2014年末比		
		騰落率(※)	騰落率	
祝日等で休場等の場合には、前営業日との比較を記載				
日本	日経平均株価	-7.02%	1.96%	
	東証株価指数 (TOPIX)	-6.79%	2.63%	
	JASDAQ INDEX	-4.75%	0.59%	
米国	ダウ工業株30種平均	-3.25%	-9.65%	
北米	S&P500	-3.40%	-6.69%	
	ナスダック総合株価指数	-2.99%	-1.10%	
主要国	カナダ	S&Pトント総合指数	-2.79%	-7.89%
	英国	FTSE100	-3.28%	-7.97%
欧州	ドイツ	DAX	-2.53%	2.37%
ほか	フランス	CAC40	-3.25%	5.86%
	イタリア	FTSE MIB	-2.37%	12.94%
	オーストラリア	S&P/ASX200指数	-4.24%	-6.85%
新興国	中国	上海総合指数	-2.23%	-2.30%
	韓国	韓国総合株価指数	-2.66%	-1.54%
	香港	ハンセン指数	-3.57%	-11.71%
	台湾	台湾加権指数	-0.23%	-14.04%
	インド	S&P BSE SENSEX	-4.51%	-8.35%
	ロシア	RTS指数(ドル建て)	-4.37%	0.37%
	トルコ	イスタンブール100種指数	-2.27%	-14.90%
	ブラジル	ボベスバ指数	-1.39%	-7.02%
他	メキシコ	ボルサ指数 (IPC)	-1.27%	-0.93%
	南アフリカ	FTSE/JSE 全株指数	-1.73%	-1.34%

※騰落率は前回基準日と今回基準日の各株価指数を比較しています。

主な株価指数の推移



日経平均株価、東証株価指数、JASDAQ INDEX、ダウ工業株30種平均、S&P500及びS&Pトント総合指数及びS&P/ASX200指数、ナスダック指数、FTSE100及びFTSE MIB及びFTSE/JSE 全株指数、DAX、CAC40、上海総合指数、韓国総合株価指数、ハンセン指数、台湾加権指数、S&P BSE SENSEX、RTS指数、ISEナショナル100指数、ボベスバ指数、ボルサ指数に関する著作権等の知的財産権、その他一切の権利はそれぞれ、日本経済新聞社、株式会社東京証券取引所、S&P Dow Jones Indices LLC、スタンダード・アンド・プアーズファイナンシャル サービスズエル エル シー、The NASDAQ OMX Group, Inc.、FTSE社、ドイツ証券取引所、ユーロネクスト、上海証券取引所、韓国取引所、Hang Seng Indexes Company Limited、台湾証券取引所、ボンベイ証券取引所、ロシア取引システム、イスタンブール証券取引所、サンパウロ証券取引所、メキシコ取引所に帰属します。

マーケットの動き

世界の株式相場は、中国では8月の製造業PMI(政府調査)を受けて景気減速懸念が広がったことや株式相場に対する警戒感から、週前半に下落。その後、米国ではベージュブックの内容を受けて、ユーロ圏ではECBによる量的緩和政策の微調整などもあり底堅い動きがみられたが、米国の利上げ開始を巡る不透明感から週末には再び下落

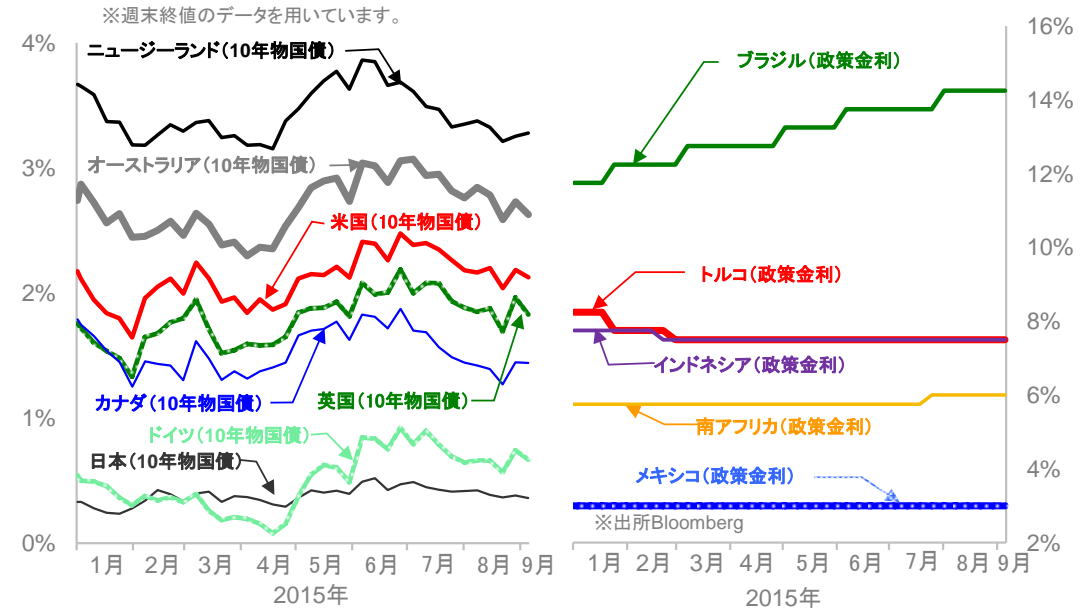
- 日本では、円高の影響もあり下げ幅を拡大
- 中国では、政府の株価対策に対する期待の低下もあり下落。連休を前に底堅い動きがみられたものの、不安定な展開が続いた

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客さまの投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類(目論見書等)ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の判断であり、将来の運用の成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客さま自身の判断でなさるようお願いいたします。

金利

国	9月4日	前回基準日	差
祝日等で休場等の場合には、前営業日の数値を記載			
主要国			
日本	0.360%	0.379%	-0.019%
米国	2.125%	2.182%	-0.057%
ドイツ	0.668%	0.742%	-0.074%
英国	1.826%	1.962%	-0.136%
カナダ	1.439%	1.444%	-0.005%
オーストラリア	2.627%	2.729%	-0.102%
ニュージーランド	3.277%	3.251%	+0.026%
新興国			
ブラジル	14.25%	14.25%	±0.00%
メキシコ	3.00%	3.00%	±0.00%
トルコ	7.50%	7.50%	±0.00%
南アフリカ	6.00%	6.00%	±0.00%
インドネシア	7.50%	7.50%	±0.00%

主要国および新興国の金利の推移



REIT、商品市況

	9月4日	前回基準日	騰落率
祝日等で休場等の場合には、前営業日の数値を記載			
○ REIT			
東証REIT指数	1551.11	1644.11	-5.66%
S&P先進国REIT指数(ドルベース)	226.84	237.22	-4.38%
○ 商品			
WTI原油先物価格(期近物)	46.05	45.22	+1.84%
トムソン・ロイター/ジェフリーズCRB指数	196.70	197.10	-0.20%
ニューヨーク金先物(12月限月)	1121.40	1134.00	-1.11%

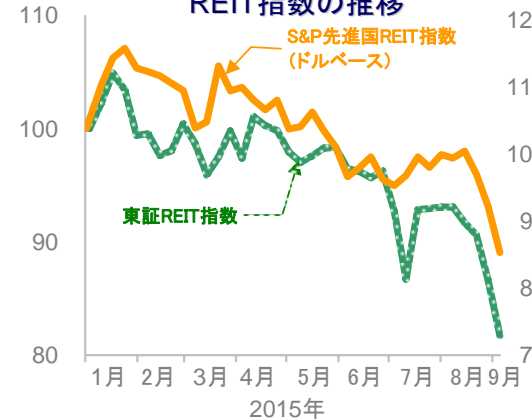
※ 東証REIT指数、S&P先進国REIT指数、WTI、トムソン・ロイター/ジェフリーズCRB指数に関する著作権等の知的財産権、その他一切の権利はそれぞれ株式会社東京証券取引所、スタンダード・アンド・プアーズファイナンシャル サービスズエル エルシー、ニューヨーク商業取引所、Thomson Reuters、Jefferies Financial Products,LLCに帰属します。

マーケットの動き

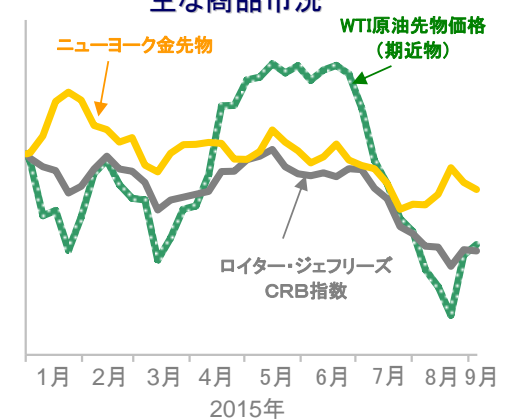
主要国の長期金利は、株式相場の下落を受けた投資家のリスク回避の動きなどから概ね低下

- ECBは主要政策金利を据え置くとともに、現行の量的緩和政策について公的部門の債券1銘柄に関してECBが購入できる上限割合を33%へ引き上げを決定
- 政策金利については、オーストラリア、ブラジルで据え置きを決定
- 国内外のREIT相場は、株式相場に連れ安

REIT指数の推移



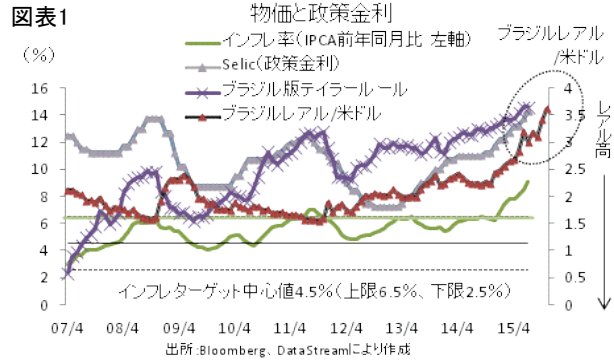
主な商品市況



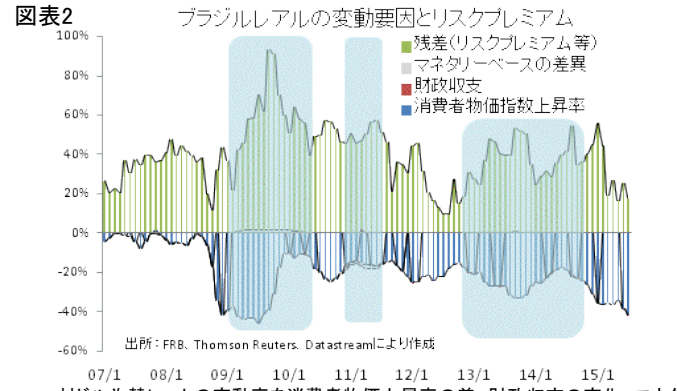
※各指数は、2014年末の終値を100として指数化しています。※週次データを用いています。※出所Bloomberg

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客さまの投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類(目論見書等)ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の判断であり、将来の運用の成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客さま自身の判断でなさるようお願いいたします。

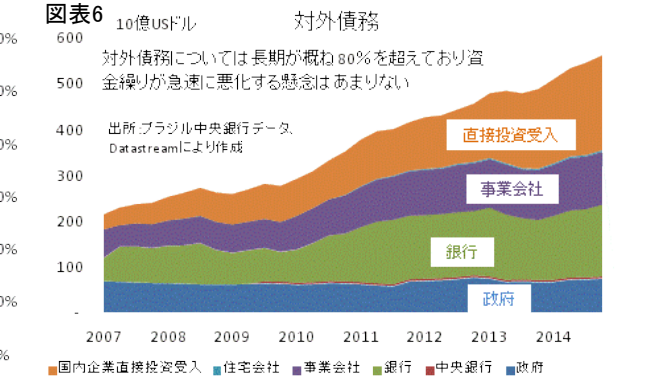
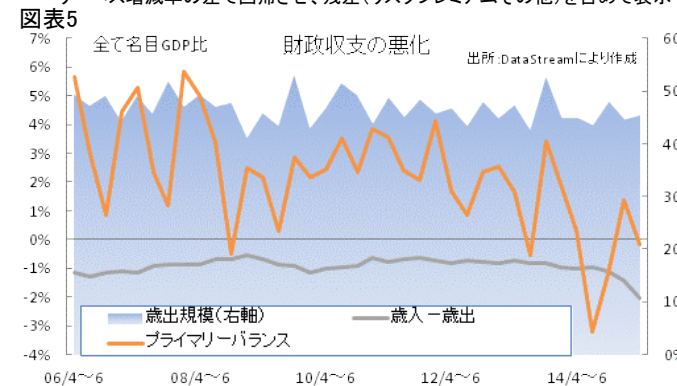
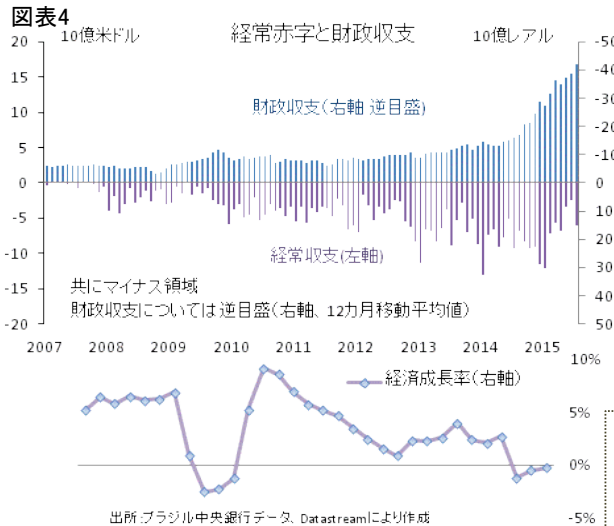
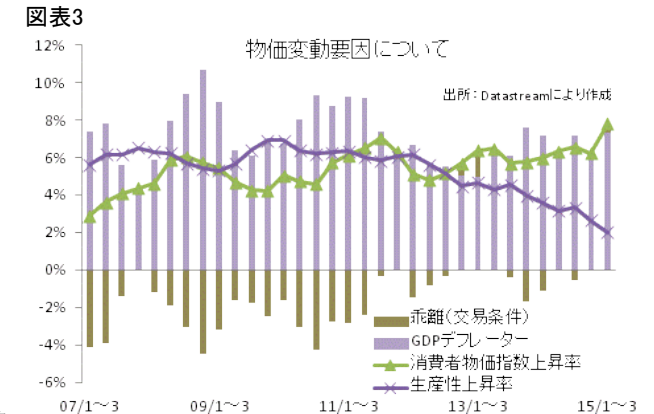
○ ブラジルの経済ファンダメンタルズについて インフレ、財政、経常収支、対外債務



テイラールールとは政策金利のあるべき水準を推測する際に有効とされる



対ドル為替レートの変動率を消費者物価上昇率の差、財政収支の変化、マネタリーベース増減率の差で回帰させ、残差(リスクプレミアムその他)を含めて表示



ブラジル・レアルは、同国中央銀行が既に2006年の水準まで政策金利を引き上げているにもかかわらず、下落が続いている。政策金利はテイラールールを適用すれば、ほぼ妥当な水準に達しており、今後のインフレ動向次第ではあるが、打ち止め感も始まるように思われる。ただ、為替相場の下落が続いていることもあり、資本流出に対応した利上げの可能性は残る(図表1)。為替レートの変動要因としてはインフレ、経常収支、財政赤字などが考えられる。ここでの為替レートの変動率と消費者物価上昇率には有意な関係がみられた(図表2)。現在のインフレ率については、GDPデフレーターと消費者物価上昇率に大幅な乖離がないことから、交易条件悪化による影響というより、国内要因によると考えられる(図表3)。同国のインフレ要因としては特に労働生産性の低下があげられる(図表3)。次に近年悪化が目立っている財政収支との関係については、膨張する財政赤字が国際的なイベント等への支出が続く中、経済成長率の鈍化による歳入減少が重なったためと推察されるが、為替レート下落の一因にもなっている(図表2、4、5)。ここでは経常収支との直接的な関連は希薄に見えるが、対外債務の膨張が為替レートに影響を与えていることは十分に考えられる(図表6)。9月の会合では政策金利変更が見送られた。既に現在の経済状況に見合う水準に達していることや、鈍化している国内経済への配慮もあったと考えられる。また金利操作による為替レートの水準誘導の限界も考慮していると思われる。現在のブラジルの状況では、ある程度の高金利を維持しつつ、インフレ抑制を図ることが急務であるが需要を喚起する政策の必要も今後検討されるべきと思われる。

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客さまの投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類(目論見書等)ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の判断であり、将来の運用の成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客さま自身の判断でなさるようお願いいたします。